# 家でもチャレンジ!!「サイエンスショー」 「おっと?鳴らしてみよう!」



## ざいりょう どうぐ 材料と道具

- ① ボウル
- ② 黒いビニール
- ③ わゴム
- 4 生 生



#### やってみよう!

① ボウルに黒いビニールをかぶせ、わゴムで止めます。 ビニールをしっかり張って、たるまないようにすることが大事です。





② ビニールの上に塩をまぶします。



③ ボウルの近くで、音を鳴らしてみましょう!

これで、 音を鳴らしてみましょう!

声を出したり、手をたたいてみたり、楽器を鳴らしてみたり……音の大きさ

や高さを変えると、どう変化するだろう?

### どうして「塩が動くの」?

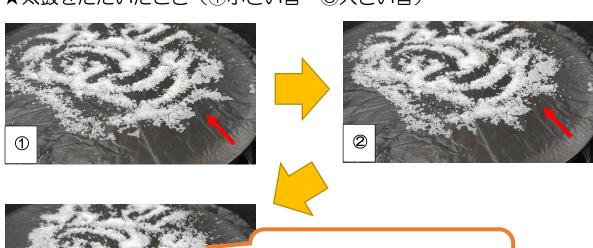
まず、私たちの声はのどにある声帯が震えることで出ています。自分ののどに手を当てて、声を出してみてください。ブルブル震えていると思います。 そして、この声帯の震えが空気をブルブルと震わせ、その振動(震え)が耳の 鼓膜に届くため、音として聞こえるのです。

今回の実験は、黒いビニールが鼓膜の役割をしていました。塩は、音の振動が自に見えるようにするために置いたものです。音を出すと、黒いビニールが振動して、その上に置いていた塩も振動します。

大きな音を出すと、塩は大きく跳ね上がりました。音の大きさが大きければまた。 大きいほど、塩も大きく跳ね上がりました。また、音の高さが高ければ高いほど、塩も細かく動きました。

いろいろ、どうぐ、つか、 catata しお しんどう かんさつ 色々な道具を使って、様々な塩の振動を観察してみよう!

### ★太鼓をたたいたとき (①小さい音→③大きい音)



新御にあった塩が、钾浴に高かって 動いている様子が見えるね